



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は自己抑制(節制)について何と言っているか?— リビング・イット・アウト・KJV欽定訳聖句とストロングナンバー

それを生きる・神との歩み— 這う、歩く、走る、走り終える

節制— 聖書的基础教理

開会の言葉

節制とは、何よりもまず一つの歩みである。子供は一日にして自分を治めることを覚えるのではない。まず、はいはいをし、抱かれ、乳で育てられる。次に、乳離れし、母の乳を離れた子のように静められる。それから歩き、悪を退け善を選ぶことを学ぶ。そして走る——褒美を得ようと競う者はみな、すべてにおいて節制する。ギリシア語では *egkrateia* (G1466, 節制) という語が用いられ、これは内なる力、すなわち人が自分自身を治める力を意味する。そしてこれには *egkrateuomai* (G1467, 節制する) という対になる語があり、これは同じ力が競走の中で働かされることを表す。ヘブライ語では一語 *mashal* (H4910, 治める) がこれを表す——おのれの霊を治むる者は、城を攻め取る者に勝る。そして、その治めがないところでは *matsar* (H4623, 治める) が示すように、その人は城壁のない、崩された町ようになる。この学びは、節制

本研究が答える三つの問い:

1. 節制はどこに見出されるのか、また人はどのようにして最初にそれに至るのか。
2. 節制を得た人は、それをどのように扱うべきか、また日々どのように生き出すべきか。
3. その競走はどのように終わるのか——どのような冠が用意されており、世が過ぎ去るとき、誰がとこしえに残るのか。

ギリシャ語キーワード

“節制” — **G1466 *egkrateia*** — 自制、節制、節制

御霊の実は自制である

“節制のある” — **G1467 *egkrateuomai*** — 自制する、抑制する、節制する

試合で勝利を目指すすべての者は、すべてにおいて節制する

“増加” — **G4298 prokopto** — 増加する、進む、増す
イエスは知恵が進み、たけが加わり

“過度” — **G810 asotia** — 放蕩、放縱
酒に酔うな、その中には放縱がある

“節制のある” — **G1468 egkrates** — 節制のある、内側において強い
節制のある、正しい、聖なる、自制ある

“御し続ける” — **G5299 hupopiazō** — 殴って服従させる、打ちたたく
私はわが身を打ちたたく

“服従させる” — **G1396 doulagogeo** — 服従させる
それを服従させる

“マスターーのために努める” — **G118 athleo** — 努める、争う
もし人が競技をするならば

“武器” — **G3696 hoplon** — 武器、防具、道具
私たちの戦いの武器は肉的なものではなく

“重さ” — **G3591 ogkos** — 重さ、重荷
私たちはすべての重荷を捨て去ろう

“留まる” — **G3306 meno** — とどまる、残る、耐え忍ぶ
神のみこころを行う者は永遠に存する

“全く” — **G3651 holoteles** — 最後まで、完全に
平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖くされる

(私個人の考え——この言葉の構成に注目してほしい。ストロングによれば、エグクラテア(G1466、temperance、節制)は二つの言葉に基づいている——G1722、in(内に)、そしてG2904、kratos(力、支配)——内なる力、すなわち人が自分自身を支配することである。そしてエグクラテウオマイ(G1467、to be temperate、節制する)は、その同じ力が働きに置かれたものである——人がただ持っているだけのものではなく、競走の中で行うものである。実と、それを走ることとは、二つの形をとった一つの言葉なのである。)

ヘブライ語キーワード

“統べる” — **H4910 mashal** — 統べる、支配する、治める
自分の霊を治める者は、城を攻め取る者よりも勝る

“規則” — **H4623 matsar** — 克己、規律、抑制
自分の霊を制することのない者

“ヒド” — **H6845 tsaphan** — 隠す、蓄える、秘密にしておく
私はあなたの言葉を心に隠しました

“乳離れした” — **H1580 gamal** — 育つ、熟する、豊かに施す
乳離れした者たち

“十分な” — **H1767 day** — 十分な、足りる
必要な分だけ食べなさい

“目的を定めた” — **H7760 suwm** — 定める、置く、任命する、目的とする
ダニエルは心に定めた

(私自身の思い——マーシャル(H4910、支配する)とは「支配」そのものを表す言葉である。同じ言葉が「汝は彼をして汝の手の作れる物を治めしめたまへり」(詩篇8:6)に見え、また神が罪について戸口にいるカインに語られた言葉——「罪は門に伏して汝を慕う、されど汝はこれを治めよ」(創世記4:7)にも見える。神が初めに定められた支配は、まず人自身の霊に対して定められるのである。そしてマツアル(H4623、抑制)は自制を意味する——それが欠けているとき、箴言はその人を「破れたる城のごとく、城壁なき者」と言うのである。)

I. 探し方 — 見つけ方

(私の個人的な思い——どの歩みも低いところから始まる。この歩みもそうだ。節制はまず自分の手の業ではない。それは実である——そして実には作られるものではなく、育つものである。それはぶどうの木に実り、そのぶどうの木とは一人の人格者である。そして幼子はそれを、自分のすべての食物を見出す場所——すなわちみことばの中に、乳として見出す。それを銀のように尋ね求め、隠された宝のように探し求めよ。低いところから始めよ、みことばの乳房から始めよ、そして始めよ。)

A. ガラテヤ人への手紙 5:22-23 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、(23) 柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1466 egkrateia

御霊の実 → 柔和、自制 + このようなものを禁じる律法はない。

B. ヨハネによる福音書 15:4 わたしにつながっていないさい。そうすれば、わたしはあなたがたとつながっていない。枝がぶどうの木につながっていないければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしにつながっていないければ実を結ぶことができない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3306 meno

わたしはあなたがたとつながっていない。枝がぶどうの木につながっていないければ → あなたがたもわたしにつながっていないければ実を結ぶことができない。

C. ヨハネによる福音書 15:5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2590 karpos

私にとどまる者、また私が彼にとどまる者 → その者は多くの実を結ぶ + 私を離れては、あなたがたは何もすることができない。

(私個人の考え——節制はここに見出される。それは御霊の実の中に書かれており、実はぶどうの木にとどまる枝にのみ実る。枝を切り離せば実はない。なぜなら、わたしを離れては、あなたがたは何もすることができない、と主は言われるからである。節制を見出すためには、主のうちにとどまりなさい——内なる力とは、あなたのうちに生きる主の力である。)

D. ペテロの第二の手紙 1:3 いのちと信心とにかかわるすべてのことは、主イエスの神聖な力によって、わたしたちに与えられている。それは、ご自身の栄光と徳とによって、わたしたちを召されたかたを知る知識によるのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1411 dunamis ・ ■ G1922 epignosis

いのちと信心とにかかわるすべてのことは、主イエスの神聖な力によって、わたしたちに与えられている。それは、

E. 箴言 2:4-5 銀を求めるように、これを求め、かくれた宝を尋ねるように、これを尋ねるならば、(5) あなたは、主を恐れることを悟り、神を知ることができるようになる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2664 chaphas

銀を求めるようにこれを求め + かくれた宝を尋ねるようにこれを尋ねるならば → そうすれば、神を知ることができるようになる。

F. ヨハネによる福音書 5:39 あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2045 ereunao

聖書を調べよ —— それはわたしについてあかしするものである。

G. 詩篇 119:9 若い人はどうしておのが道を清く保つことができるでしょうか。み言葉にしたがって、それを守るよりほかにありません。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1697 dabar

若い人はどうしておのが道を清く保つことができるでしょうか? → み言葉にしたがって、それを守るよりほかにありません。

H. 詩篇 119:11 わたしはあなたにむかって罪を犯すことのないように、心のうちにみ言葉をたくわえました。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6845 tsaphan

わたしはあなたにむかって罪を犯すことのないように → 心のうちにみ言葉をたくわえました。

(私個人の思い——若者が守るべき原則がどこから始まるかに注目してほしい。それは、あなたの御言葉に従って注意を払うこと、そして心に隠された御言葉によってである。tsaphan(H6845、隠す)は、宝のように蓄えるという意味である。罪を犯すまいとする者は、御言葉を内側に、欲望が湧き上がるまさにその場所に蓄える——宝は、敵が叩くまさにその戸口に置かれているのだ。)

I. ペテロの第一の手紙 2:2 今生れたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。それによっておい育ち、救に入るようになるためである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1051 gala ・ ■ G837 auxano

生まれたばかりの乳飲み子のように、御言葉の混じりのない乳を慕い求めなさい——それによって成長するためです。

J. 詩篇 131:2 かえって、乳離れしたみどりごが、その母のふところに安らかにあるように、わたしはわが魂を静め、かつ安らかにしました。わが魂は乳離れしたみどりごのように、安らかです。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1826 damam

私は自分の魂を治め、静めた→乳離れした子とその母によりてするように。

K. イザヤ書 28:9-10 「彼はだれに知識を教えようとするのか。だれにおとずれを説きあかそうとするのか。乳をやめ、乳ぶさを離れた者にするのだろうか。(10) それは教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則。ここにも少し、そこにも少し教えるのだ」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1580 gamal

乳離れした者たち → 教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則、ここにも少し、あそこにも少し。

(私の個人的な思い——主は誰に教えられるのか。それは乳離れした者たちである。ガーマル(H1580、乳離れした)とは、乳房から取り去られ、それを過ぎ去って育った子を指す。詩篇の作者はそれを、静められた魂の姿そのものとして描いている——私はわが魂を沈め、静めた、乳離れした子が母親に対するように。人が最初に学ぶ節制とは、乳離れである。魂はその渴望から静められ、戒めに戒めを、教訓に教訓を、ここにも少し、かしこにも少しと教えられていく。)

L. ルカによる福音書 2:52 イエスはますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4298 prokopto

イエスはますます知恵が加わり、背たけも伸び+そして神と人から愛された。

(私の個人的な思い——もし、はうことなど自分には及ばないと思うのなら、御子自身も成長された——プロコプト(G4298、増し加わる)、前進すること。御子は成長された、そしてあなたも成長する。誰も、これにおいて最初から完全に成長した状態で生まれる者はいない。乳を慕い求め、それによって成長しなさい。今、あなたは立っているのだから、歩くことを学びなさい。)

II. 歩む — それを得たときに、それをどうすべきか

(私自身の思い——赤ん坊は自分の足で立った。今度は日々の歩みが始まる。見出された節制は、歩まれる節制にならなければならない。そしてその歩みの第一の規則はこれである。御霊によって歩め、そうすれば肉の欲望を満たすことは決してない。肉を制する道は、じっと立ち止まってそれと戦うことではなく、歩むことである——御霊によって、白日の下で、正直に、慎み深く——そして、これらの証人たちの中で、その歩みが何を拒み、何をまとうのかに注目せよ。)

A. ガラテヤ人への手紙 5:16 わたしは命じる、御霊によって歩きなさい。そうすれば、決して肉の欲を満たすことはない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4043 peripateo ・ ■ G1939 epithumia

御霊によって歩みなさい。→そうすれば、肉の欲を満たすことはありません。

B. ローマ人への手紙 13:13 そして、宴楽と泥酔、淫乱と好色、争いとねたみを捨てて、昼歩くように、つつましく歩こうではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4043 peripateo

昼歩くように、正しく歩き、宴楽と酩酊とに歩まず。

C. ローマ人への手紙 13:14 あなたがたは、主イエス・キリストを着なさい。肉の欲を満たすことに心を向けてはならない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4307 pronia

あなたがたは、主イエス・キリストを着なさい+主イエス・キリストを着なさい。

D. エペソ人への手紙 5:18 酒に酔ってはいけない。それは乱行のもとである。むしろ御霊に満たされて、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G810 asotia

酒に酔ってはいけない。それは乱行のもとである → むしろ御霊に満たされて、

(私自身の考察——聖書は二つの満たしを対比させている。すなわち、放蕩へと導く酒——アソーティア(G810、放蕩)、注ぎ出され浪費された人生——と、御霊とを。人は器であり、問題はただ何がその人を満たすかということだけである。御霊に満たされるなら、放蕩の入る余地はない。)

E. テトスへの手紙 2:11-12 すべての人を救う神の恵みが現れた。(12) そして、わたしたちを導き、不信心とこの世の情欲とを捨てて、慎み深く、正しく、信心深くこの世で生活し、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4996 sophronos

神の恵みが私たちに教える → 不敬虔と世の欲を捨てること+慎み深く、正しく、敬虔に生きること。

F. ペテロの第二の手紙 1:5-6 それだから、あなたがたは、力の 限りをつくして、あなたがたの 信仰 に 徳 を 加え、徳 に 知識 を、(6) 知識 に 節制 を、節制 に 忍耐 を、忍耐 に 信心 を、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1466 egkrateia

すべての勤勉を尽くして、知識に節制を加え、節制に忍耐を加えなさい。

(私の個人的な思想——梯子に注目せよ——節制は、あらゆる勤めをもって、知識に加えられ、忍耐は節制の上に築かれる。あなたが実として見出したものを、今、一つの段として加えねばならない。歩みは進むにつれて上っていく。)

G. テトスへの手紙 2:2 老人 たちには 自らを 制し、謹厳で、慎み 深くし、また、信仰 と 愛 と 忍耐 と において 健全 であるように 勧め、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4998 sophron

年老いた男たち → 節度があり、慎重で、自ら制し、信仰、愛、忍耐において健全であること。

H. テトスへの手紙 1:8 かえって、旅人 をもてなし、善 を 愛し、慎み 深く、正しく、信仰 深く、自制 する 者 であり、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1468 egkrates

善を愛する者、そして自制心があり、正しく、聖く、節制のある者。

(私自身の考察——ここでの「節制のある」というタグ、G1468:egkrates、内側から強い人、egkrateiaそのものの根を見よ。群れの前に立つ長老は、自らを治める者でなければならない。そして年配の男たちもまた——謹厳で、真面目で、節制のある者でなければならない。この歩みはすべての年代のためのものであり、若さと共に終わるものではない。)

I. 創世記 4:7 正しい 事 を している のでしたら、顔 を あげたら よい でしょう。もし 正しい 事 を していない のでしたら、罪 が 門口 に 待ち 伏せて います。それは あなた を 慕い 求め ますが、あなたは それ を 治め なければ なりません。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4910 mashal

罪が門口に待ち伏せています + それはあなたを慕い求めますが → あなたはそれを治めなければなりません。

J. 箴言 16:32 怒り を おそく する 者は 勇士 に まさり、自分 の 心 を 治める 者は 城 を 攻め 取る 者に まさる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4910 mashal

怒りを遅くする者は勇士に勝り、自分の心を治める者は町を奪う者に勝る。

(私自身の考察——ルールに関する二つの言葉をここに並べて考えてみたい。カインに対して罪について言われたのは、「あなたはそれを治めるべきである」——マーシャル(H4910、治める)——これは書全体における節制についての最初の命令であり、欲望が待ち構える戸口で語られたものである。そしてこの箴言は同じ言葉を冠として用いている。自分の霊を治める者は、町を攻め取る者よりも勝っている。世は町を攻め取る者を勇者と数えるが、神は自分の霊を治める者をより勇ましい者と数えられる。)

K. 箴言 25:16 蜜 を 得 た ならば、ただ 足 る ほど に これ を 食 べよ、おそらくは 食 べす ごと し て、それ を 吐 き 出 す であろ う。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1767 day

蜜を得たならば? → ただ足るほどにこれを食べよ。

L. ヤコブの手紙 1:19 愛 する 兄弟 たちよ。この こと を 知 っ て おき なさい。人 は すべて、聞 く に 早 く、語 る に おそく、怒 る に おそく ある べき である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1021 bradus

聞くに早く、語るにおそく、怒るにおそくあるべきである。

(私個人の思いとして——節制の日々の歩みは、たいてい一つの小さな門を通っていく。それは口である——そしてこの門は両方向に働く。食べ物が入ってくる。蜜のような良く甘い物であっても、御言葉は言う、ただ足りるほどに——ダイ(H1767, sufficient)、足りるだけ——食べよと。言葉は出ていく。聞くには早く、語るには遅く、怒るには遅くあれ。この門を治めよ、そうすれば歩みの多くを治めたことになる。このように歩めば、走る備えができていく。)

III. 競走を走る — 神の軍隊の兵士のようにそれに従う

(私の個人的な思い——今、歩みは競走となり、競走は戦いとなる。ある箇所に隠されたものに注目せよ。パウロは、それゆえ私はこのように「走る」と言い、同じ息で、私はこのように「戦う」とも言う——走る者と戦う者は同一人物なのだ。そして彼の打撃がどこに当たるかを見よ。他人にではない——私は自分の体をUNDERに、すなわちhupopiazō(G5299、押さえつける)に置く。これをストロングは「目の下を打つ」と訳している。節制する者の最初の敵は自分自身の肉であり、その肉を神に明け渡すことこそ、兵士の全ての務めなのである。)

A. コリント人への第一の手紙 9:24 あなたがたは知らないのか。競技場で走る者は、みな走りはするが、賞を得る者はひとりだけである。あなたがたも、賞を得るように走りなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4712 stadion ・ ■ G5143 trecho

競走をする者はみな走る + あなたがたも、獲るように走りなさい。

B. コリント人への第一の手紙 9:25 しかし、すべて競技をする者は、何ごとにも節制をする。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするが、わたしたちは朽ちない冠を得るためにそうするのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G75 agonizomai ・ ■ G1467 egkrateuomai

すべて競技をする者は、何ごとにも節制をする → わたしたちは朽ちない冠を得る。

C. コリント人への第一の手紙 9:26 そこで、わたしは目標のはっきりしないような走り方をせず、空を打つような拳闘はしない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4438 pukteuo

このように、あやふやにではなく走りなさい。このように、空を打つようにではなく、私は戦う。

D. コリント人への第一の手紙 9:27 すなわち、自分のからだを打ちたたいて服従させるのである。そうしないと、ほかの人に宣べ伝えておきながら、自分は失格者になるかも知れない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5299 hupopiazō ・ ■ G1396 doulagageo

私はわが身をたたきて服従せしむ。

(私の個人的な考え——「征服する」はドウラゴーゲオー(G1396)であり、奴隷として導くという意味である。肉体は良き僕であり悪しき主人である。走る者はそれを服従させる。そして注目すべきはその「理由」である。すなわち、他の人々に宣べ伝えておきながら、自分自身が失格者とならないためである。競走は、人が自らの御しがたい肉体において以上に、たやすく失われる場所はない。)

E. テモテへの第二の手紙 2:3 キリスト・イエスの良い兵卒として、わたしと苦しみを共にしてほしい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4757 stratiotes

艱難に耐えよ。イエス・キリストの良き兵士として。

F. テモテへの第二の手紙 2:4 兵役に服している者は、日常生活の事に煩わされてはいない。ただ、兵を募った司令官を喜ばせようと努める。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1707 empleko

兵役に従事する者は、この世の生活の事に紛わされることはない。それは彼を兵に選んだ者を喜ばせるためである。

G. テモテへの第二の手紙 2:5 また、競技をするにしても、規定に従って競技をしなければ、栄冠は得られない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G118 athleo

競技をするにしても → 規定に従って競技をしなければ、栄冠は得られない。

(私個人の思い——「勝利を得るために努める」とはアスレオー(G118)、すなわち競技会で競うという意味である。そして冠は一つの言葉にかかっている。すなわち「規定にしたがって」である。兵士はもつれに関わらず、競技者は道からそれない。節制とは、全行程を規律のもとに保つこと——すべてを秩序立てておくことであり、それによって走りの中で冠を失うことがないようにするのである。)

H. テモテへの第二の手紙 2:22 そこで、あなたは若い時の情欲を避けなさい。そして、きよい心をもって主を呼び求める人々と共に、義と信仰と愛と平和とを追い求めなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1939 epithumia

若い時の情欲を避け、義と信仰と愛と平和とを追い求めよ。

I. ペテロの第一の手紙 2:11 愛する者たちよ。あなたがたに勧める。あなたがたは、この世の旅人であり寄留者であるから、たましいに戦いをいどむ肉の欲を避けなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G567 apechomai ・ ■ G4754 strateuomai

異邦人また寄留者として、魂に戦いをいどむ肉の欲を避けよ。

J. ローマ人への手紙 6:13 また、あなたがたの肢体を不義の武器として罪にささげてはならない。むしろ、死人の中から生かされた者として、自分自身を神にささげ、自分の肢体を義の武器として神にささげるがよい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3936 paristemi ・ ■ G3696 hoplon

自分自身を神に献げ、あなたがたの肢体を義の器として神に献げなさい。

K. コリント人への第二の手紙 10:4 わたしたちの戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。わたしたちはさまざまな議論を破り、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3696 hoplon

わたしたちの戦いの武器は、肉のものではなく → 神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。わたしたちはさまざまな議論を破り、

L. コリント人への第二の手紙 10:5 神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させ、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G163 aichmalotizo

想像を打ち砕き、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させる。

(私の個人的な考え——タグに注目してほしい。ローマ書における義の器と、コリント書における私たちの戦いの武器は、同じギリシャ語一語である——両方ともG3696、ホプロン、武具、武器である。あなたの体の部分を神に委ねよ。そうすれば、あなたの体の部分は神の武器となる。そして戦いはまず内側で戦われる。論議は打ち崩され、すべての思いが虜にされる——節制する者は、外の敵に出会う前に、まず自分自身の思いを虜にするのである。)

M. 箴言 25:28 自分の心を制しない人は、城壁のない破れた城のようだ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4623 matsar

自分の心を制しない人は=城壁のない破れた城のようだ。

(私自身の思い——そしてここに兵士への警告が立っている。自制のない者は、倒れた兵士に例えられるのではなく、倒れたに例えられる——打ち壊され、城壁のない都に。敵はその者を攻め落とす必要さえない。彼はすでに開かれているのだ。あなたの城壁を守れ、そして油断するな。)

N. ヘブル人への手紙 12:1 こういうわけで、わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのであるから、いっさいの重荷と、からみつく罪とをかなぐり捨てて、わたしたちの参加すべき競走を、耐え忍んで走りぬこうではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3591 ogkos ・ ■ G73 agon

あらゆる重荷を捨て去り、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り抜けよ。

(私自身の思い——走る者はすべての重荷を捨て去る——オグコス(G3591, weight)、担われる重量。すべての重荷が罪であるわけではない。しかし、すべての重荷は必ずあなたを遅らせる。兵士は戦いに必要な以上のものを携えず、走る者は競走に必要な以上のものを携えない。それを置き去り、忍耐をもって走れ。ゴールはあなたの前にある。)

IV. フィニッシュライン — 神の意志を行う者、そして御言葉は、永遠に残る

(私個人の思い——すべての競走には終わりがあり、その終わりは壁ではなく、冠である。ゴールに立つパウロの言葉を聞け。戦いは戦い抜け、道のりは走り終えられ、信仰は守られた。そして、この終わりが節制について何を証しするかに注目せよ——世は過ぎ去り、その情欲も共に過ぎ去る。人が仕えたあらゆる欲望は、それを生み出した世と共に過ぎ去っていく——しかし、神の御心を行う者はとこしえに残る。節制な者は過ぎ去るものを手放し、残るものを保った。)

A. ピリピ人への手紙 3:13-14 兄弟たちよ。わたしはすでに捕えたとは思っていない。ただこの一事を努めている。すなわち、後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、(14) 目標を目ざして走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1377 dioko

後にあるものを忘れ、前にあるものに向かって身を伸ばし、しかしてわたしは目標を目ざして賞を得んと追い求める。

B. テモテへの第二の手紙 4:7 わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G73 agon ・ ■ G1408 dromos

わたしは戦いをりっぱに戦いぬき+走るべき行程を走りつくし+信仰を守りとおした。

C. テモテへの第二の手紙 4:8 今や、義の冠がわたしを待っているばかりである。かの日には、公平な審判者である主が、それを授けて下さるであろう。わたしばかりではなく、主の出現を心から待ち望んでいたすべての人にも授けて下さるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4735 stephanos

義の冠+わたしだけでなく、彼の現れを愛するすべての人にも与えられる。

(私個人の思いですが——その冠はただ一人の走者のためだけのものではありません。パウロは言います、私にだけでなく、その顕現を愛するすべての者にも与えられる、と。そしてそれは朽ちることのない冠です——朽ちる冠のために走った者たちでさえ、すべてのことについて節制していました。まして、この冠のために走る者たちはなおさらです。)

D. ヘブル人への手紙 12:2 信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもいとわないで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno

信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見る = 彼は十字架を忍び給うた。

E. ヤコブの手紙 1:12 試練を耐え忍ぶ人は、さいわいである。それを忍びとおしたなら、神を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno ・ ■ G3986 peirasmos

試みに耐える人は幸いである。彼は生命の冠を受けるであろう。

F. マタイによる福音書 24:13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno ・ ■ G5056 telos

最後まで耐え忍ぶ者は救われるべし。

G. ヨハネの第一の手紙 2:16 すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、持ち物の誇は、父から出たものではなく、世から出たものである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1939 epithumia

肉の欲+目の欲+暮らしの誇り → 父からのものではなく、世からのものである。

H. ヨハネの第一の手紙 2:17 世と世の欲とは過ぎ去る。しかし、神の御旨を行う者は、永遠にながらえる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3306 meno

世と世の欲とは過ぎ去る。しかし→神の御旨を行う者は、永遠にながらえる。

(私自身の思い——ここでタグG3306に注目し、よく見てほしい。ここで「続く」と訳されている言葉は、ぶどうの木における「とどまる」——私にとどまれ——と訳されている言葉とまったく同じであり、また主の言葉は永遠に「変わることがない」と訳されている言葉ともまったく同じである。枝はぶどうの木にとどまり、御心を行う者は永遠に続き、御言葉は両者にとどまる。欲望が約束したものは、それを保つことができなかった。欲望そのものが世と共に過ぎ去っていくからである。しかし、ぶどうの木が生み出すものは、とどまる。)

I. ペテロの第一の手紙 1:24 「人はみな草のごとく、その栄華はみな草の花に似ている。草は枯れ、花は散る。しかし、主の言葉は、とこしえに残る」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5528 chortos

「人はみな草のごとく+花は散る。しかし、主の言葉は、とこしえに残る」。

J. ペテロの第一の手紙 1:25 これが、あなたがたに宣べ伝えられた御言葉である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3306 meno

されど主の言は永遠に保つ+これ即ち汝らに宣べ伝えたる福音の言なり

K. イザヤ書 40:8 草は枯れ、花はしぼむ。しかし、われわれの神の言葉はとこしえに変わることはない」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1697 dabar

草は枯れ、花はしぼむ。しかし+われわれの神の言葉はとこしえに変わることはない」。

(私の個人的な思い——ペテロをイザヤの傍らに置いてみると、一つの声が聞こえる。草は枯れ、花はしおれる。肉なる者はすべて——そのあらゆる欲望を持ってしても——その草である。しかし、われらの神の言(ことば)は永遠に立つ。節制する者が仕えることを拒んだ肉は、仕えることを叫び求めているその時にさえ、すでに枯れつつあった。彼が従って歩んだ言(ことば)は、草が失われても、なお立ち続ける。)

二人の口

テサロニケ人への第一の手紙 5:6 だから、ほかの人々のように眠っていないで、目をさまして慎んでいよう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1127 gregoreo ・ ■ G3525 nepho

だから、ほかの人々のように眠っていないで→目をさまして慎んでいよう。

ペテロの第一の手紙 5:8 身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるしのように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3525 nepho ・ ■ G1127 gregoreo

慎み深くあれ、目を覚ましていよ。汝の仇なる悪魔は、呑むべき者を求めて歩き回る。

ペテロの第一の手紙 1:13 それだから、心の腰に帯を締め、身を慎み、イエス・キリストの現れる時に与えられる恵みを、いささかも疑わずに待ち望んでいなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G328 anazonnumi ・ ■ G3525 nepho

心の腰に帯を締め、慎み、終わりまで望みを抱け。

コリント人への第二の手紙 13:1 わたしは今、三度目にあなたがたの所に行こうとしている。すべての事からは、ふたりか三人の証人の証言によって確定する。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3144 martus

すべての事からは、ふたりか三人の証人の証言によって確定する。

(私個人の思感——二人の語り手に耳を傾け、その言葉の中に映し出された鏡に注目せよ。パウロは言う、目を覚まし、慎み深くあれ——gregoreo, nepho。ペテロは言う、慎み深くあれ、目を覚ましていよ——nepho, gregoreo。同じ二つの言葉が、一方の語り手が他方に応答するように、顔が顔に應えるように、順序を逆にして現れる。そしてペテロは、その慎みを終わりの地点に据える。慎み深くあれ、そして終わりまで望みを抱け。二人の証人の証言によって、事は確定する。節制の人とは目覚めている人であり、その主の来臨に至るまで慎み深くある者である。)

影と実現

Shadow ダニエル書 1:8 ダニエルは王の食物と、王の飲む酒とをもって、自分を汚すまいと、心に思い定めたので、自分を汚させることのないように、宦官の長に求めた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7760 suwm

ダニエルは心に定めた→王の食物によっても、その飲む酒によっても、自分の身を汚すまいと。

Fulfillment マタイによる福音書 4:4 イエスは答えて言われた、『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである』と書いてある。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4487 rhema

人はパンのみにて生きるものに非ず、神の口より出づる凡ての言に由りて生きるなり。

Fulfillment ガラテヤ人への手紙 5:24 キリスト・イエスに属する者は、自分の肉を、その情と欲と共に十字架につけてしまったのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4717 stauroo

キリスト・イエスに属する者は、自分の肉を、その情と欲と共に十字架につけてしまったのである。

(私自身の思い——影とは、異国の王の家に住む一人の子供である。ダニエルは心に定めた——スーム suwm(H7760)、定めること。食物が彼の前に置かれる前に、彼はそれを心に定めていたのであり、王の食べ物によって自分を汚そうとはしなかった。実体とは、荒野にいる御子であり、飢えている中で、試みる者はパンを現すよう命じよと言うが、彼は自分の飢えによって答えたのではなく、御言葉によって答えた——「…と、書いてある」。影は心の決断によって王の食卓を拒んだが、実体は神の口から出るすべての言葉によって勝利を得た。そして彼に属する者たちは、その情と欲とともに肉を十字架につけた——彼の勝利が彼らの生き方となったのである。)

閉会

コリント人への第一の手紙 10:13 あなたがたの会った試練で、世の常でないものはない。神は真実である。あなたがたを耐えられないような試練に会わせることはないばかりか、試練と同時に、それに耐えられるように、のがれる道も備えて下さるのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1545 ekbasis

神は真実である→試練とともに脱れる道をも備えて下さり、あなたがたには耐えられないような試練に遭わせることはなさないのである。

テサロニケ人への第一の手紙 5:23-24 どうか、平和の神ご自身が、あなたがたを全くきよめて下さるように。また、あなたがたの霊と心とからだを完全に守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのない者にして下さるように。(24) あなたがたを召されたかたは真実であられるから、このことをして下さるであらう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3651 holoteles ・ ■ G5083 tereo

平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖くくださるように。また、霊と心と体とを完全に守って、責められるところのない者としてくださるように。→あなたがたを召したかたは忠実であられるゆえ、そのことは必ず成就されるのです。

(私自身の思い——さて、家路の全体をたどり直そう。まずは這うこと。節制は実であり、木につながっているところに見出され、御言葉から乳のように汲み出される——銀を捜すように、それを捜し求めよ。次に歩くこと。御霊によって歩め、そうすれば欲望は成し遂げられない。自分の霊を治めよ。口の門を守れ。足りだけを食べよ。次に競走と戦い。すべての事において節制すること。からだを打ちたたいて服従させること。からだの部分を義の武器として献げること。すべての思いを捕虜として引き渡すこと。次にゴール。世は過ぎ去り、その欲望も共に過ぎ去る。しかし神のみこころを行う者はとこしえに残り、その冠は朽ちることがない。そしてこの保持は、あなた一人の力によるのではない。神は真実である——試練とともに、逃れる道も備えてくださる。どうか平和の神ご自身が、あなたを full に——G3651のタグを見よ。ストロングによれば「終わりまで全き」の意——聖め、霊と魂とからだとを、私たちの主イエス・キリストの来臨のときまで責められるところのないように守ってくださいるように。あなたを召してくださる方は真実であり、その方はまた必ずそれを成し遂げてくださる。歩み続けよ。)

練習クイズ

- ガラテヤ人への書5:22-23 — 御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制であって、これらを否定する律法は:
 - a) 何の罪の宣告もない
 - b) 戒めなし
 - c) 律法はない
- コリント人への第一の書 9:25 — しかし、すべて競技をする者は、何ごとにも節制をする。
 - a) 競走において
 - すべてのことにおいて
 - c) この現世において
- 箴言 16:32 — 怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は:
 - a) 城を攻め取る者
 - b) 力ある者
 - c) 破られた城壁の町
- ペテロの第一の手紙 5:8 — 身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのように、
 - a) この世の事に自ら関わり合う
 - b) 魂に対して戦うほえたけるししのように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている
- ダニエル書1章8節 — ダニエルは自分を汚すまいと心に思い定めた、その対象は:
 - a) 王の食物と、王の飲む酒
 - b) 目の欲、そして生活の誇り
 - この世の生活のこと
- ヨハネの第一の書 2:17 — 世と世の欲とは過ぎ去る。しかし、神の御旨を行う者は
 - a) 命の冠を受ける
 - 永遠にながらえる
 - c) 救われる
- コリント人への第一の手紙9:27 — 「すなわち、自分のからだを打ちたたいて服従させるのである。そうしないと、」
 - a) 義の器としてそれを献げる
 - b) すべての重荷を捨て去る
 - 自分のからだを打ちたたいて服従させる

解答:1-c、2-b、3-a、4-c、5-a、6-b、7-c

このスタディの分岐

影がどのように光をもたらすか。王の家にいた一人の少年は心に定めて、王の食物とぶどう酒とで身を汚さなかった(ダニエル書1:8) — この者を、ぶどう酒も濃い酒も断つナザレ人(民数記6:2-3)のかたわらに置き、また「ぶどう酒に酔うな…御霊に満たされよ」(エペ

ソ人への手紙5:18)のかたわらに置いて、それ自体の研究に備えさせよ。

新しい契約はそれをどのように説き明かすか。カインには、罪は戸口に伏している……あなたはそれを治めるべきである、と言われた(創世記4:7)。私たちには、罪はあなたがたを支配することはない、あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にあるからである、と言われている(ローマ6:14)—戸口で命じられたことが、今は恵みによって成し遂げられる。

→ 言葉がいかに重要であるかを見よ。「目を覚まし、慎んでいなさい」(テサロニケ前書5:6)と「慎み深くあれ、目を覚ましていよ」(ペテロ前書5:8)は、同じ二つのギリシャ語(G1127、G3525)の上に成り立ち、一つの口が他方に応えている。そしてローマ書6:13の「器具」と、コリント後書10:4の「武器」は同じ一語(G3696)であり—献げられた肢体こそが武具である。

それはいかに永遠に及ぶか。彼らは朽つる冠を得んがためにこれを行うなり、されど我らは朽ちざる冠を得んがために行うなり(コリント人への前の書 9:25)—また世と世の欲とは過ぎ去る、されど神の御旨を行う者は永遠に存す(ヨハネの第一の書 2:17)。

余談:「おのおの己が器を潔く貴く保つことを知り」(テサロニケ前書 4章 4節)は、「貴きに用ふる器となり、潔められて主の用に適う」(テモテ後書 2章 2 1節)へと通じる—調べてみよ。

考えられる啓示:ぶどうの木にとどまる(ヨハネ15:4、G3306)と訳される言葉は、とこしえに存する(ヨハネの手紙第一2:17)ととこしえに残る(ペテロの手紙第一1:25)と訳される言葉と同じである—節制は実であり、実はとどまる枝に実り、とどまる枝はみことばと共に、とこしえにとどまる。

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0);

Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).